

Lab. Times⁺

vol.5

coming soon...



発行：北九州市立大学地域共生教育センター
発行日：2019年3月
編集：北九州市立大学地域共生教育センター
学生運営スタッフ広報班

[Address] 〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1
[Tel] 093-964-4092
[Mail] info421@kitakyu-u.ac.jp

SNSでも情報を配信しています。
ぜひフォローをお願いします！

Twitter ↓



Facebook ↓



Lab. Times⁺

vol.4



繋がる学生たち
フィールドを超えて

| ラボタイムズプラス | 学生による学生の為の地域活動情報誌

フィールドを超えて繋がる学生たち



421Lab. で活動する学生たちは、自分自身が持つフィールド内（所属プロジェクトや北九州市立大学など）での交流だけでなく、他のプロジェクトの学生や他大学の学生とも活発に交流を行っています。そんな 421Lab. の学生たちの活動をご紹介します。

目次

Interact 1

P.4~9 地域活動に携わる学生の集い 2018 - インターカレッジ -

5つの大学の学生が集結！421Lab.の学生が主催する学生同士の交流会

Interact 2

P.10~11 プロジェクトコラボ

421Lab.のプロジェクト同士のコラボ企画を3つご紹介！

Interact 3

P.12~14 長崎~小倉 次世代交流平和推進事業

地域を超えた若者同士の交流についてご紹介します！

P.15 編集後記

本号の編集担当者はこちら！



地域活動に携わる学生の集い 2018

— インターカレッジ —



昨年11月、421Lab. 学生運営スタッフが主催する学生交流会を北九州市立大学の北方キャンパスにて行いました。ボランティアセンターなどで活動を行う5つの大学の学生たちがボランティア活動の課題を共有し活動の発展に向けての交流を行いました。

【参加大学】

吉備国際大学
順正学園ボランティアセンター

北九州市立大学
地域共生教育センター (421Lab.)

長崎大学
やってみゅーデスク

熊本県立大学
学生ボランティアステーション

高知県立大学
地域教育研究センター



タイムスケジュール

1日目

13:00～ 開会

13:20～ 各大学紹介

14:00～ **グループワーク**

15:50～ **発表**

16:30～ 421Lab. 見学

18:00～ 交流会

PICK UP!

- ①アイスブレイク:「お題でトーク」
→決められたお題やテーマに沿って自由に語り合いました。
- ②活動の課題や改善点の共有
- ③課題解決策の提案



PICK UP!

グループワークの成果を各グループごとに発表しました。



PICK UP!

- 災害への取り組みについて
- ①個人ワーク
 - ②大学ごとに話し合い
 - ③グループ共有
 - ④大学ごとに課題解決
 - ⑤発表



PICK UP!

2日間何を学んだのか、それを今後の活動にどう生かすのかを各大学ごとに発表しました。



2日目

10:00～ 1日目の振り返り

10:20～ 421Lab. 防犯防災PJの発表

“災害の予防について”

10:30～ 高知県立大学の発表

“災害後について”

10:50～ **ワークショップ**

12:30～ 昼休憩

13:30～ **2日間の学びの発表**

14:10～ 閉会

主催者インタビュー

北九州市立大学
地域共生教育センター (421Lab.)



3年
東倉綾花さん



3年
河野裕平さん

Q,なぜ、インターカレッジを開催したのか？

河野 以前大阪で開催された「大学ボランティアセンター学生スタッフリーダーセミナー 2018」に参加した際、421Lab.にはまだまだ足りない部分があることに気付かされ、自分の価値観が大きく変わりました。それを421Lab.の他のメンバーにも感じて欲しいと思い、参加したセミナーを参考にこのインターカレッジを企画しました。

Q,インターカレッジを開催した感想は？

河野 初めての企画であったため過去のデータなどがなく、全て手探りで企画でした。参加者を集めるのが特に難しく、ボランティアセンターやサークルなどがあるところを見つけては手当たり次第に電話をしました。皆が楽しんで参加してくれているのを見て、頑張った甲斐があったとホッとしています。

東倉 各大学がお互いに意見を出し合ったり考え方を吸収し合ったりすることができてとても良かったです。2日目に行った災害ワークショップに関しては、どの大学も最近災害にあった地域の大学であり、災害支援のボランティアに力を入れていたため、私たち421Lab.の学生にとってとても勉強になったと思います。



Q,この企画を通して成長したことは？

河野・東倉 ゼロからイチのものを作る企画力が身に付いたと思います。わざわざ遠くから来てくれている参加者に何か得てもらうためには、どのようなワークをしたら良いか、企画チームでの話し合いを通して一生懸命考えました。またワークショップを進めていく上では、物事を順序立てて考える力が身に付いたと思います。



インターカレッジを終えて考えたこと。

参加者の声

Q. インターカレッジに参加した感想は？

吉備国際大学
順正学園ボランティアセンター

OKAYAMA

2年
阿部実和さん

センターの会議を定例にして集まりを良くすることや、防災に関して意識を高めていけるような取り組みをすることなど、これから自分たちのセンターに取り入れたいことをたくさん発見することができました。

他大学の学生も自分たちと同じような悩みを持たれていることが分かり、とても安心しました。また、参考になる情報をたくさんもらうことができたので、自分たちのセンターに取り入れてより良いセンターにしていきたいです。

2年
高原悠悟さん

参加者の声

Q. インターカレッジに参加した感想は？

熊本県立大学
学生ボランティアステーション

KUMAMOTO

2年
岩奥礼奈さん

自分たちのユニットではしていないようなアピールや支援の仕方を知ることができました。また、他大学の学生から自分たちの活動と似た活動の話聞く中で、参考にしたいことや自分たちのユニットに取り入れたいことなどが多くあったので、とても勉強になりました。

他大学の学生団体も私たちと同じような課題を抱えていることが分かりました。反対に自分たちとは違う課題を聞いた時には、「私たちにもそういう課題があるのではないか？」と自分たちのユニットを見つめ直すことができたので、とても良かったです。

1年
坂本菜々子さん高知県立大学
地域教育研究センター

KOCHI

2年
浅野日向子さん

自分たちの活動を見直す良いきっかけになったと思います。他大学のアイデアや考え方を学んでいく中で、自分たちが自分たちのプロジェクトについてしっかりと把握できていなかったことが分かりました。

自分の活動を他の人に伝えることはとても難しいことですが、発表する機会が多かったことで自信に繋がりました。今まで思いつかなかった課題解決策をたくさん聞くことができたので、プロジェクトのメンバーに共有したいです。

3年
宮地悠太さん長崎大学
やってみゅーデスク

NAGASAKI

参加人数が少ない分、皆とより深く交流することができました。日本と同じく台湾も災害の多い国ですが、台湾の大学には、ボランティアセンターというものは設置されていないと思います。ボランティアセンターがあれば防災に関してできることがあると思うので、台湾に帰ったら何か行動したいと思います。普段は考えないことをたくさん考えることができて良かったです。

交換留学生
LIN PEI CHEN さん

編集者より

異なる土地・異なる団体で活動を行う学生同士で交流し取り組みや課題を共有することで新しい視点を持つことができたり、活動の見直しや発展に役立てることがあります。このような意見交換の場を定期的に設けることで、今行っている活動がより充実した活動になっていくのではないかと感じました。

Project Collaboration

プロジェクトコラボ

421Lab. ではプロジェクト間のコラボレーションが盛んに行われています。
ここでは今年度プロジェクト同士でコラボレーションを行った
421Lab. に所属する5つのプロジェクトをピックアップ！
それぞれの活動について聞いてみました！

Collaboration 1

食と農業まなび場 PJ × ハッピーバースデー PJ

日時：12月19日 場所：東朽網小学校



↑クイズに挑戦する子どもたち

「ハッピーバースデー PJ」が活動している東朽網小学校児童クラブでの誕生日会に「食と農業まなび場 PJ」の学生が参加し、食に関する紙芝居とゲームを行いました。ゲームでは、好き嫌いの多い子どもたちに食事の大切さと食べ物に対する感謝の気持ちを伝えることを目的として行いました。

普段とは人数や雰囲気などが全く異なるゲームとなり、活動の場所が異なればアプローチの仕方を大きく変えるべきだということを学ぶことができました。また「ハッピーバースデー PJ」の学生による子どもの扱い方や子どもとの距離の縮め方などが参考になりました。まだまだ学ぶことがあると感じたため、今後も一緒に活動が出来たら良いなと感じています。



食と農業まなび場 PJ リーダー
地域創生学群3年
黒松隆二さん

Collaboration 2

三萩野バス停モラル・マナーアップPJ Clear × 地域クリーンアップPJ

日時：10月13日 場所：北九州市立大学周辺

まず「地域クリーンアップPJ」の普段の活動である greenbird を一緒に行いました。その後に「三萩野『Clear』PJ」が普段行っているミーティングにて、活動の共有やプロジェクトの課題解決の相談などを行いました。



↑両プロジェクトがコミュニケーションをとりながら清掃活動をする様子

どちらも清掃活動をするプロジェクトですが、活動の仕方や雰囲気などは違うため、両メンバーとも新鮮さを感じていました。お互いのプロジェクトのメンバーから今後の活動案が多く挙がっていたのが良い点だったと思います。



両PJリーダー
地域創生学群2年
梶原大史さん

学生・いぬねこを守る会 × 地域クリーンアップPJ

日時：1月18日 場所：馬島

「地域クリーンアップPJ」の活動の一つである馬島清掃を一緒に行いました。全員で馬島の海岸沿いのゴミ拾いを行った後、別地点の海岸沿いの清掃と馬島の猫調査の2班に分かれて活動を行いました。昼休憩の際にはお互いのプロジェクトの相互理解を深めるべく活動内容の共有を行いました。



地域クリーンアップPJ
経済学部1年
武氣優花さん

「清掃活動」と「動物保護活動」はなかなか結びつくことのない活動ですが、だからこそ今回のコラボレーション企画を通して自分たち「地域クリーンアップPJ」にはない発想や視点を知ることができました。



↑両プロジェクトが一緒に清掃活動をする様子

編集者より

新たな視点で活動を見直すことができたり、プロジェクト同士が互いに高め合えたりすることが、プロジェクト間のコラボレーションの魅力だと感じました。今後も多彩なコラボレーションから目が離せません！

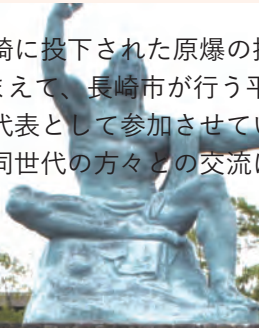


長崎～小倉 次世代交流平和推進事業

2018/10/26,27



北九州市は長崎に投下された原爆の投下第一目標でした。
その経緯を踏まえて、長崎市が行う平和への取り組みに
北九州市の代表として参加させていただきました。
平和学習を通じた同世代の方々との交流についてご紹介します。



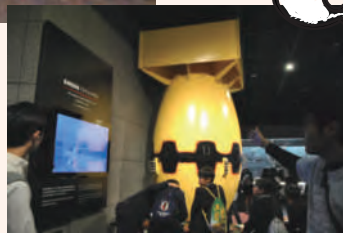
1日目の活動



13:00 平和記念公園・平和記念資料館等見学



青少年ピースボランティアの方が
案内・解説をしてくださいました。



17:00 長崎市庁表敬



長崎市長とお話させていただきました。



18:00 夕食



ピースボランティアの皆さんと交流
しながら夕食を食べました。

2日目の活動



10:00 市民大行進のボランティア



風船に長崎の子どもたちが書いた
メッセージカードを貼っています。



市民大行進に参加する子どもたちに
風船を配っています。



11:00 市民大行進に参加



参加者で長崎市を歩きました。



最後にこれからの平和を祈って
バルーンリリースをしました。

青少年ピースボランティアのコメント



太田雅章さん

中学生のときに沖縄の地上戦について知り、青少年ピースボランティアの活動を始めました。学校で習う平和学習と戦争体験者から聞く話は全然違います。長崎以外の地域でも平和について多くの人に関心をもってもらえるといいなと思います。

青少年ピースボランティア

被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ることを目的として、15歳～30歳未満の青少年が被爆の実態や戦争について学び、平和のための活動に取り組んでいます。平成14年から活動をスタートし、平成29年度現在で205名の方が登録しています。そのうち96名が大学生だそうです。

HP : <https://nagasakipeace.jp/japanese/peace/action/youth/volunteer.html>

参加者のコメント

この企画に参加して、改めて平和の大切さや自分たちが恵まれた環境にいることに感謝しなければならないと感じました。終戦から70年以上経ち、被爆者・戦争体験者から直接お話を聞く機会は限られています。原爆や戦争の出来事を風化させないために私たちと同世代の方々頑張っている様子を見て、刺激を受けました。原爆といえば長崎・広島イメージが強いですが、小倉も投下予定地であった歴史があるので、他人事ではなく平和に対して目を向けていくべきだと思います。

(421Lab. 学生運営スタッフ2年 近藤晴菜, 陣内菜奈子, 宮本明梨)

編集後記

Lab.Times+ も、4冊目となりました。



vol.1 『421Lab. × SDGs』
『421Lab. について』

vol.2 『子どもを取り巻く環境』

vol.3

vol.4 『フィールドを超えたつながり』

Lab.Times+vol.4 を読んでいただきありがとうございました。今年度からリニューアルし、ボリュームアップ・レベルアップした Lab.Times+。1シーズンごとに製作し、本誌で4冊目に到達しました！来年度もステキな Lab.Times+ をお楽しみに！



421Lab. 学生運営スタッフ広報班

陣内菜奈子, 佐藤彰洋, 高木悠汰,
武氣優花, 宮本明梨 (編集長), 近藤晴菜
(写真左から)